



海の空こ

## まえがき

---

2008年に詠んだ歌（ブログ公開したもの中心）を、まったく詩歌に興味のない相方さまに選んでもらった過去歌をまとめてみました。章は相方がつけた評価♪とりあえずニジュウマル・マル・サンカクそろって公開中♪

迷  
つ  
て  
た  
一  
欠  
片  
パ  
ズ  
ル  
の  
一  
欠  
片  
嵌  
め  
込  
ま  
な  
ら  
パ  
ズ  
ル  
の  
一  
欠  
片

涙は  
数えるモノじゃない  
忘れてしまう  
その  
手立てだから

涙は  
数えられないけど  
数えることもない  
ただ  
流れゆくままで

人の数だけ  
思いはあっても  
言葉には  
どうしても  
限りがある

見送りつて  
切ない  
やわらかに  
やわらかに  
振った  
もつた  
いかれる

耳の奥に  
まだ残る  
おばあちゃん  
おんが  
恋しくてたま  
お盆がまた来  
た



十センチ四方の  
ちいさな手の爪  
きりそろえる  
妹の横顔  
かあさんそっくり



床の凸凹  
埋めている  
埃を  
ぬぐって  
凸凹許す

菜の花の開  
く前に  
くはつ  
くす  
人とは  
なんと  
貪欲

洗面器いっぱい  
泡で  
洗顔  
女子高生のお風呂が  
長い訳

どこからが  
死んでいる！なの？  
大事な人の手は  
まだ  
温かい

プ  
ラ  
イ  
ド  
の  
高  
さ  
に  
つ  
ま  
づ  
く  
ハ  
イ  
ヒ  
ー  
ル  
は  
も  
う  
は  
け  
な  
い  
は

まだ粗い  
言葉に  
砥石をあて  
いつかあて  
突き刺すた  
めに



ツツジの  
植え込みの  
ピヨンピヨ  
たんぽぽ  
春を誘う

雪 浴 屋 木 や  
つ 根 | ん  
て に ム わ  
の り  
と

練乳を  
こっそり  
なめた  
その指  
こっそり  
なめたい

プチプチプチプチ  
緩衝材を  
つぶします  
秋の愚痴など  
いいあいながら

誰もいない  
夜道を  
照らす  
街灯と  
帰る

すすき  
大きく  
手をひろげ  
夏は終わり。  
線をひく  
と

月曜の  
朝を  
つかま  
え逃し  
て  
幸せな  
二度寝

麦茶ポットから  
注がれる  
夏の  
軽やかな  
まちこがれた足音



線路  
プツリ  
途切れて  
思い出は  
もう必要ない

飼い主を  
引っ張り  
走つてく  
ダックスフントの急用とは  
なんだ？

布団  
蹴り  
夫婦の壁  
今夜  
できた

はらり  
はらりと  
散つて  
桜は  
未練たつぷりだ

塩むすび  
つくる手が  
知らず知らずに  
かあさんの  
マネしていた

ナベのメを  
何にするか  
で  
今日の  
二人の距離がわかる

ざらついた舌で  
悩みまで  
なめとる  
猫 白い靴下履いている

止めていた  
息を  
吐き出すように  
梅の花  
ひらく





泡-2008-

海の空こ 著

2010/12/02発行

2010/12/03更新

2010/12/09更新(マル追加・表紙変更)

2010/12/13更新(サンカク追加)

2010/12/26 P D F用に印刷してみたが、自分の思っていたものと違っていたので更新

以上 誤字脱字のない限り 完成